

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【いそどり学園中学部】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習を調整する力(自律的な学び): 自分の興味・関心に基づいて課題を選択し、自らのペースで学習を進める力 探究的・創造的な思考力: 先端技術や教科横断的な視点を活用し、自ら問いを見付け、多面的に考えて解決していく力 自己肯定感とレジリエンス(精神的回復力): 自分の強みを認め、困難に立ち向かったり、心身の健康を保ったりしながら社会とつながる力。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<small> (目標達成率) 学力向上策の実施状況 「いそどり学園」の実態: 自分自身や他者との関わりの中で、自律的な学びを支援 【目標: 年度末評価の項目】 ① 主体的な学びの推進: 授業・授業後、体験、家庭: 目標を達成した学習を振り返り、知識を統合的に活用する力を養う。 ② SMARTゴールの活用: 授業・授業後、体験、家庭: 目標を達成した学習を振り返り、知識を統合的に活用する力を養う。 ③ 「いそどり」での先端技術活用: 3Dプリンターやドローン等を用いた探究活動を推進し、創造的思考を養う。 【評価: 年度末評価】 </small>

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	結果分析(2月) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
		↓
今年度の成果と 次年度の課題		さいたま市学習状況調査(学力) <小3-中3>(1月)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) 児童生徒による振り返り ②調査問題の解説	学力向上策の実施 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業
結果から考えられる 児童生徒の実態	結果から考えられる 児童生徒の実態(7月)	調査結果分析(7~8月) ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業	調査(生活習慣) (11~12月)
結果から考えられる 児童生徒の実態		第2回 学習状況調査研修会

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	中間評価(9月) 課題・策の見直し
学力向上策の 見直し		教育研究所

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)